



## 平成 26 年 11 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 3 月 31 日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東  
 コード番号 9369 URL <http://www.krs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡宗 直樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 笹島 朋有 (TEL) 042-441-0711  
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 4 月 14 日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 26 年 11 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 11 月期第 1 四半期	35,756	5.0	385	262.2	401	119.4	199	679.2
25 年 11 月期第 1 四半期	34,067	0.5	106	△78.5	183	△69.4	25	△91.0

(注) 包括利益 26 年 11 月期第 1 四半期 265 百万円 (25.5%) 25 年 11 月期第 1 四半期 211 百万円 (△53.2%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 11 月期第 1 四半期	15.73	—
25 年 11 月期第 1 四半期	2.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 11 月期第 1 四半期	60,577	28,908	45.1
25 年 11 月期	61,498	28,793	44.3

(参考) 自己資本 26 年 11 月期第 1 四半期 27,316 百万円 25 年 11 月期 27,213 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 11 月期	—	8.50	—	9.50	18.00
26 年 11 月期	—	—	—	—	—
26 年 11 月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 26 年 11 月期の連結業績予想 (平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	68,000	△2.9	1,000	4.0	1,030	△9.6	483	△0.0	38.12
通期	144,500	0.4	2,600	8.9	2,650	1.5	1,250	0.3	98.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期1Q	12,677,900株	25年11月期	12,677,900株
② 期末自己株式数	26年11月期1Q	9,044株	25年11月期	9,034株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期1Q	12,668,856株	25年11月期1Q	12,669,116株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する経済政策や金融緩和政策により、輸出産業を中心とする企業収益の持ち直しを背景に、景気は緩やかな回復傾向がみられるものの、長期化している個人消費の抑制など依然として厳しい状況で推移しました。

食品物流業界におきましては、燃料調達単価の上昇や物流業者間の価格競争による受託料金の低下に加え、人手や車両不足、法改正への対応、「食の安全・安心」に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、新グループ経営体制の確立による食品物流総合力ナンバーワンをめざすべく、「新たな展開の推進」「事業基盤の強化」「人材育成と物流品質の向上」の3つを基本方針とした中期経営計画(2013年度から2015年度)を推進しております。2年目にあたる平成26年度(2014年度)は、「意思決定のスピード化と施策を確実に実行していく年」としてネットワークの構築や収益力の強化に取り組んでまいります。

営業収益は、コンビニエンスストアやチェーンストアなどの流通業を得意先とする専用物流事業の既存取引の拡大により増収となりました。

利益面は、燃料調達単価・電気料金など物流コストの増加影響を受けたものの、売上高増加による利益増に加え、業務の標準化や運送業務などの合理化改善が進捗し増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は357億56百万円と前年同期に比べ16億89百万円(5.0%増)の増収となり、営業利益は3億85百万円と前年同期に比べ2億79百万円(262.2%増)、経常利益は4億1百万円と前年同期に比べ2億18百万円(119.4%増)、四半期純利益は1億99百万円と前年同期に比べ1億73百万円(679.2%増)の増益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

## (共同物流事業)

共同物流事業収益は、新規・既存取引の拡大により取扱物量が増加し増収となりました。利益面は、燃料調達単価上昇によるコスト増の影響を受けたものの、売上高増加にともなう利益増と業務の標準化や運送業務の合理化改善などが進捗しました。

この結果、共同物流事業収益は196億97百万円と前年同期に比べ6億93百万円(3.6%増)の増収、営業利益は42百万円と前年同期に比べ69百万円(前年同期は27百万円の営業損失)の増益となりました。

## (専用物流事業)

専用物流事業収益は、既存取引が拡大し増収となりました。利益面は燃料調達単価上昇によるコスト増などの影響を受けたものの、売上高増加にともなう利益増により増益となりました。

この結果、専用物流事業収益は143億71百万円と前年同期に比べ8億6百万円(5.9%増)の増収、営業利益は2億52百万円と前年同期に比べ1億75百万円(228.9%増)の増益となりました。

## (関連事業)

関連事業収益は、燃料販売数量や車両の販売などが増加し16億87百万円と前年同期に比べ1億88百万円(12.6%増)の増収、営業利益は97百万円と前年同期に比べ33百万円(52.6%増)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億20百万円減少し605億77百万円となりました。資産の減少の主な要因は、有形固定資産の増加14億76百万円はありましたが、受取手形及び営業未収入金の減少24億89百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億35百万円減少し、316億69百万円となりました。負債の減少の主な要因は、短期借入金の増加17億34百万円はありましたが、支払手形及び営業未払金の減少13億18百万円、未払法人税等の減少4億53百万円、および未払費用等の減少による流動負債その他の減少6億7百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億14百万円増加し、289億8百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加78百万円および為替換算調整勘定の増加28百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ2億41百万円増加し27億89百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億69百万円(前年同期は6億72百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少はありましたが、仕入債務の減少、営業活動によるキャッシュ・フローのその他の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億69百万円(前年同期は24億73百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、12億55百万円(前年同期は28億51百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出およびリース債務の返済による支出はありましたが、短期借入金の純増減額の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しについては、燃料調達単価・電気料金の上昇に加え、消費税率引上げにともなう景気の減速が懸念され厳しい経営環境で推移するものと思われます。

このような状況のなか、新規・領域拡大やコスト削減に引き続き取り組んでまいります。

現時点においては、平成26年1月9日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,548	2,789
受取手形及び営業未収入金	17,708	15,219
商品	179	162
貯蔵品	78	94
その他	1,683	1,691
貸倒引当金	△5	△0
流動資産合計	22,193	19,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,696	6,621
機械装置及び運搬具(純額)	3,072	3,253
工具、器具及び備品(純額)	319	313
土地	14,583	14,583
リース資産(純額)	2,017	1,943
建設仮勘定	4,193	5,642
有形固定資産合計	30,880	32,357
無形固定資産		
投資その他の資産	397	375
投資有価証券	1,799	1,738
敷金及び保証金	3,596	3,575
その他	2,670	2,612
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	8,026	7,887
固定資産合計	39,305	40,621
資産合計	61,498	60,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	12,120	10,801
短期借入金	3,797	5,531
未払法人税等	652	199
賞与引当金	724	739
役員賞与引当金	81	21
その他	7,789	7,182
流動負債合計	25,165	24,475
固定負債		
長期借入金	3,710	3,552
退職給付引当金	562	548
その他	3,265	3,093
固定負債合計	7,538	7,194
負債合計	32,704	31,669
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	18,574	18,653
自己株式	△12	△12
株主資本合計	26,835	26,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308	306
繰延ヘッジ損益	△15	△17
為替換算調整勘定	84	113
その他の包括利益累計額合計	377	402
少数株主持分	1,580	1,591
純資産合計	28,793	28,908
負債純資産合計	61,498	60,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
営業収益	34,067	35,756
営業原価	33,090	34,475
営業総利益	977	1,281
販売費及び一般管理費	870	896
営業利益	106	385
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	1
受取賃貸料	22	18
持分法による投資利益	0	—
補助金収入	0	0
養老保険解約差益	—	27
デリバティブ評価益	79	—
その他	27	14
営業外収益合計	134	63
営業外費用		
支払利息	16	20
貸与設備諸費用	11	10
持分法による投資損失	—	2
為替差損	24	6
デリバティブ評価損	—	1
その他	5	6
営業外費用合計	57	47
経常利益	183	401
特別利益		
固定資産売却益	17	18
投資有価証券売却益	—	52
特別利益合計	17	70
特別損失		
固定資産除売却損	6	6
投資有価証券売却損	0	—
リース解約損	2	2
特別損失合計	9	9
税金等調整前四半期純利益	190	462
法人税、住民税及び事業税	194	226
法人税等調整額	△61	△3
法人税等合計	133	222
少数株主損益調整前四半期純利益	57	240
少数株主利益	32	41
四半期純利益	25	199



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57	240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	△4
繰延ヘッジ損益	△15	△1
為替換算調整勘定	54	31
その他の包括利益合計	153	25
四半期包括利益	211	265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166	223
少数株主に係る四半期包括利益	44	41

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	190	462
減価償却費	698	705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	142	14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5	△14
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△48	△59
受取利息及び受取配当金	△2	△3
支払利息	16	20
持分法による投資損益(△は益)	△0	2
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△52
有形固定資産売却損益(△は益)	△14	△17
有形固定資産除却損	3	6
売上債権の増減額(△は増加)	1,511	2,495
たな卸資産の増減額(△は増加)	5	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,559	△1,983
長期未払金の増減額(△は減少)	△17	△109
その他	△862	△1,060
小計	55	402
利息及び配当金の受取額	9	7
利息の支払額	△14	△21
法人税等の支払額	△754	△665
法人税等の還付額	30	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	△672	△269
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,481	△875
有形固定資産の売却による収入	35	25
無形固定資産の取得による支出	△17	△16
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	107
貸付けによる支出	△20	△19
貸付金の回収による収入	12	11
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,473	△769

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,150	1,750
長期借入れによる収入	1,600	—
長期借入金の返済による支出	△619	△174
リース債務の返済による支出	△147	△168
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△108	△120
少数株主への配当金の支払額	△22	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,851	1,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	23
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△250	241
現金及び現金同等物の期首残高	2,251	2,548
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,000	2,789

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	19,003	13,565	1,498	34,067	—	34,067
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,017	574	995	3,587	△3,587	—
計	21,021	14,139	2,494	37,654	△3,587	34,067
セグメント利益又は損失(△)	△27	76	63	112	△6	106

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	19,697	14,371	1,687	35,756	—	35,756
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,016	690	1,221	3,929	△3,929	—
計	21,714	15,062	2,909	39,686	△3,929	35,756
セグメント利益	42	252	97	391	△6	385

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。